WORLD PRESS PHOTO 17

変えられた運命

世界報道写真展2017

自然の部　単写真1位　　網にかかったアカウミガメ　2016年6月8日、スペイン領カナリア諸島テネリフェ島沿岸で、漁網に絡まり泳げずにいるウミガメ。アカウミガメは、国際自然保護連合（IUCN）により絶滅危惧II類とされている。放置された漁具がウミガメの死を頻発させている。　フランシス・ペレス　2016年6月8日　スペイン領カナリア諸島

6.10 SAT － 8.6 SUN

開館時間：10:00～18:00（木・金は20:00まで 但し7月20・21・27・28日 8月3・4日は21:00まで）入館は閉館の30分前まで
休 館 日：毎週月曜日（7月17日開館、翌18日休館）
観 覧 料：一般800(640)円／学生600(480)円／中高生・65歳以上400(320)円

■小学生以下、都内在住、在学の中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。
■第3水曜日は65歳以上無料。※（ ）は前売り・20名以上の団体料金 ※前売り期間は6月9日まで
前売りチケットはセブン-イレブン（店内マルチコピー機「セブンチケット」公演名：世界報道写真展2017東京開催）でお買い求めいただけます。東京都写真美術館では当日券のみ販売します。

TOP MUSEUM

主催：世界報道写真財団、朝日新聞社　共催：東京都写真美術館　後援：オランダ王国大使館、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会、全日本写真連盟
協賛：キヤノンマーケティングジャパン株式会社　お問い合わせ：東京都写真美術館　TEL.03-3280-0099
[公式HP] http://www.asahi.com/event/wpph/　世界報道写真展 2017　検索　[公式Twitter] 世界報道写真展（@wppjapan）

NATIONALE POSTCODE LOTERIJ　Canon
世界報道写真財団のワールドスポンサーはキヤノン、ワールドサポーターは「オランダ郵便番号宝くじ」です。

世界報道写真展2017

変えられた運命

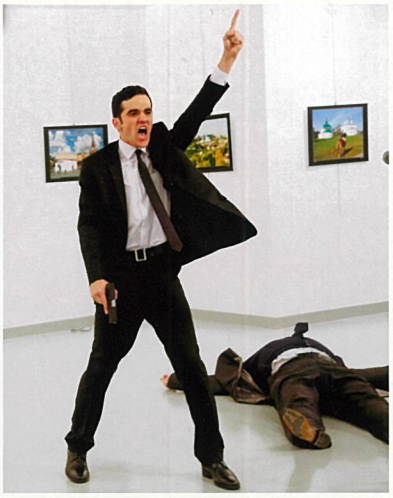
オランダで毎年開かれる「世界報道写真コンテスト」。
今回は世界各地の125の国と地域から約5千人のプロカメラマンが参加し、8万点を超える応募がありました。その中から選ばれた8部門45人の受賞作品を紹介する「世界報道写真展2017」を開催します。トルコのブルハン・オズビリジ氏が、首都アンカラで開かれた写真展の開会式にて、警察官が駐トルコ・ロシア大使を射殺した事件を捉えた大賞作品のほか、イスラム国(IS)の恐怖と食糧難によってやむなく郷里を去り、避難民キャンプで過ごさざるを得ない子どもの姿や、リオデジャネイロ・オリンピックの決定的瞬間をとらえた作品、放置された漁具により生命が脅かされるウミガメの姿など、普段目にすることがない世界の現状を伝える写真を紹介します。

スポーツの部　単写真3位
ブラジル・リオデジャネイロ夏季オリンピックで100メートル準決勝に勝利し、後ろを振り向きながら笑顔を見せるジャマイカのウサイン・ボルト。ボルトは人類史上最速と言われており、完全自動計測が義務化されて以来初の100メートル、200メートル世界記録保持者である。
カイ・オリバー・プファッフェンバッハ(ドイツ、ロイター)
2016年8月14日　リオデジャネイロ(ブラジル)

日常生活の部　組写真1位
キューバの前国家評議会議長(国家元首)で共産主義革命の指導者でもあったフィデル・カストロの葬列。国中が大いなる悲しみに包まれ、葬列を一目見ようと多くの人々が集まった。
トマス・ムニタ(チリ、ニューヨークタイムズに提供)
2016年12月1日　サンタクララ(キューバ)

人々の部　単写真1位
イスラム国(IS)の恐怖と食糧難によってやむなく郷里を去ることになった5歳の子ども。「私には夢がない。もう何も怖いものはない。」と、静かに言う。
マグナス・ウェンマン(スウェーデン、アフトンブラデッド紙)
2016年9月18日　デバガ(イラク)

現代社会の問題の部　単写真1位
たった1人で抗議の態度を示すイエシア・エバンス。武装警官によって捕らえられる際、手を差し出しながらも背筋を伸ばした姿勢を変えることはなかった。黒人男性に対する警察の残虐行為に対する抗議デモの一幕。
ジョナサン・バックマン(アメリカ、ロイター)
2016年7月9日　ルイジアナ州バトンルージュ(アメリカ)



スポットニュースの部　組写真1位　「世界報道写真大賞」
トルコの首都・アンカラにある文化センターにおける写真展の開会式、22歳の非番警官メブリュト・メルト・アルトゥンタシュがアンドレイ・カルロフ駐トルコ・ロシア大使を射殺した。犯人は、警察との銃撃戦で射殺されたが、大使の他にも3人を負傷させていた。
ブルハン・オズビリジ(トルコ、AP通信)
2016年12月19日　アンカラ(トルコ)

EVENT

フォトドキュメンタリー・ワークショップ 2017

主催:東京都写真美術館
共催:朝日新聞社

■講師:Q.サカマキ(写真家、「世界報道写真展2007」受賞者)
外山俊樹(朝日新聞社映像報道部)

■7月15日(土)～17日(月・祝)　3日間連続　■定員:20名
■事前申込制　参加費:20,000円

東京都写真美術館は、21世紀のフォトドキュメンタリー／フォトジャーナリズムについて実践的な方法を考えるワークショップを開催いたします。フォトドキュメンタリーの最前線で活躍する講師を迎え、レクチャー、ポートフォリオ・レビュー、クイック・ヒット・エッセイ制作を3日間で行います。国内では数少ないフォトドキュメンタリー／フォトジャーナリズムの現場を学べるプログラムです。

詳細は東京都写真美術館ホームページ www.topmuseum.jp をご確認ください。

至 渋谷　東口　動く通路　JR恵比寿駅　日比谷線恵比寿駅 1番出口
恵比寿ガーデンプレイス
TOP MUSEUM

153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
TEL 03-3280-0099　www.topmuseum.jp
JR恵比寿駅より徒歩約7分、
東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分
当館には専用の駐車場はございません。
お車でご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM